

研究課題名： 自宅退院の可否と摂食嚥下機能との関連について～当院データベースによる後方視的調査～

所属(診療科)：

公益社団法人地域医療振興協会 横須賀市立うわまち病院 リハビリテーション科

研究責任者(職名)：

井上 宜充 (理学療法士)

研究期間：

2018年4月1日より 2019年3月31日まで

研究目的と意義：

本研究の目的は自宅で生活していた高齢入院患者が自宅退院できるか否かを予測するためのリスク因子として摂食嚥下機能の影響を疾患別に調査、検討することである。本研究の結果は急性期病院において高齢入院患者の転帰を予測するために摂食嚥下機能がどれほど影響するのか、その影響は疾患別にどれほど異なるのかを明らかにする。摂食嚥下機能の評価はその機能を評価するのみではなく高齢入院患者の退院支援・退院調整に有益な情報であることを示す。

研究内容：

対象となる患者さん：

本研究の対象者は2012年11月から2018年3月までに横須賀市立うわまち病院に入院し摂食嚥下障害のためにリハビリテーションを実施した患者全症例とする。

利用する情報・資料：

表1に示した情報を解析する。情報の公開は解析結果のみであり個人が特定できる情報の公開はしない。

表1 本研究で利用する既存のデータ一覧

年齢	入院診断名	入院日・退院日	在院日数	入院前居所
退院先	食形態	食事介助量	血清総蛋白	アルブミン値
認知症の有無	改訂水飲みテストMWST	反復唾液嚥下テストRSST	摂食嚥下グレード	摂食状況レベル

研究方法：

本研究は既存のデータベースの内容を後方視的に調査する観察研究である。

研究対象の過去の入院中のデータを集計・解析する。摂食嚥下機能が自宅退院の可否に与える影響を分析する症例対象試験とする。

問い合わせ先：

研究責任者

氏名：井上 宜充

住所：〒238-8567 神奈川県横須賀市上町 2-36 電話：046-823-2630 FAX：046-827-1305

受付時間：月～金 9:00～17:00(土日、祝・祭日を除く)